

## 近畿圏広域計画検討会議 第4回幹事会議

1. 開催日時：平成 19 年 6 月 8 日（金） 10：00～12：00

2. 場 所：合同庁舎 1 号館第 1 別館 2 階大会議室

3. 出席者：別紙参照

4. 議事要旨

### （1）「近畿圏広域計画検討会議」設置要綱について

- ・ 近畿圏広域計画検討会議の追加メンバー（岐阜県、鳥取県、岡山県、近畿市長会、近畿ブロック府県町村会、堺商工会議所）について確認し了承された。

### （2）「第 2 回近畿圏広域計画検討会議」資料及び進め方について

- ・ 資料 1 のフローは計画策定の流れを説明するもの。
- ・ 資料 2 の「近畿圏の目指す姿」は議論のための論点を整理したものであり、これをもとに目指す姿の方向性について委員に議論していただくものとする。

資料 2 について

各機関から出た意見

全般

- ・ 今は論点整理の段階なので、柱は絞らず広げた方が良い。
- ・ 農山村の多面的機能の視点も入れてもらいたい。
- ・ 全体的に大阪湾ベイエリアや太平洋側に関するものが多いので、日本海側の事についても議論となるような表現にしてもらいたい。
- ・ アジアという表現が多いが、10年後の戦略と考えるとアジアに限定する必要がなく、世界あるいはアジア・太平洋ぐらいに書くべき。
- 「1. 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み出す関西」について
- ・ 「本物」という表現について、歴史文化だけに限定されない関西ならではのものということを表現したい。「きめ細やかさ」「固有性」などの言葉も考えられるが、「本物」に替わる適切な言葉を考えていくべき。
- 「2. 首都圏とは異なる価値が集積する日本」について
- ・ 「首都圏をバックアップする機能」という書き方を加えた方が良いという意見もあるが、単にバックアップを目指すのではなく、もう一つの中心核を担うことがいざというときにバックアップができるという考え方の方が良いのではないか。
- ・ 中心核とは、他地域に真似できない固有の文化を使った中心核とするのか、経済機能のバックアップとしての中心核とするのか、もっと多様な範囲の中心核とするのか議論が必要。

- 「４．創造的な人材が集まるアジア人材交流拠点」について
  - ・人を集めるという視点だけでなく、関西から世界・アジアへ出て活躍するという視点も加えるべき。
- 「５．人と自然が共生する持続可能な環境先進地域」について
  - ・水についてだけでなく、森林に関しても付け加えてほしい。また、閉鎖性海域、瀬戸内海についても触れてほしい。
- 「１０．産業・暮らしを支える災害に強い安心・安全関西」について
  - ・東南海、南海地域地震だけでなく、能登半島や丹後半島等の日本海側についても触れるべき。
- 「１２．アジア規模の国際分業を支える物流体系」について
  - ・目指す姿としてアジアゲートウェイを打ち出せないか、という意見もあるが、アジアゲートウェイは目指す姿ではなく戦略と考えるべきではないか。
- 「１３．都市・地域間の広域的な役割分担」
  - ・「新たな公」「地域コミュニティ」の視点も追加するべき。
  - ・６．についても言えるが、近畿圏の京阪神が強くなり地域を引っ張っていき、地方部は地方部としての役割を十分果たし、都市部と地方部を補完しあうためのネットワークを強化することでより豊かな圏域になると考えられる。

### (3) その他

- ・近畿圏広域地方計画の愛称を一般公募することを説明。